



《スローガン》

親子で読書 深める絆～本を読む子は かならず伸びる～

- 山形県PTA連合会では、親も子供と一緒に読書に親しみ、家庭に読書文化の礎を築くために親子読書を推進しています。
- 親も子も共に読書に親しむことで、親子のコミュニケーションを活発にし、子供も親も心が豊かになり、絆が深まることと思います。
- 読書習慣が子供の学力をアップします。読書習慣は文章を読み解く力と密接に関係しているのです。

応募ありがとうございました！

令和7年度 「親子で読み合いたい一冊」の紹介

※抽選で30名の方に学校を通して図書券を贈呈しています。

「みんなのおすし」

おすしが好きなのでこのほんをえらびました。いろいろおきゃくさんがきて、それぞれのおきゃくさんにあったねたがだされておもしろかったです。(小1)

家族みんなお寿司が好きなのでこの本を選びました。本を開くと、左側がお寿司屋さん、右側にお客さんが描かれていました。左側を娘、右側を私が担当してそれぞれ役になりきって声を出して読むのが楽しかったです。最後が意外な展開で面白く、楽しみながら読み終わりました。(小1母)

「コーヒーが冷めないうちに」

過去に戻って会いたい人と会い、話をする
ことができるけど、未来を変えることはできなくて、人生のその時間は一度しかない大切なものだということを再確認できると思ったから。この本では、「自分なら誰に会いに行くだろう」と考えさせられるし、今を大切に生きることの大事さを改めて感じられます。親子で一緒に読むことで、その思いをさらに深く共有できると思ったからこの本を選びました。(中3)

「せかいの図鑑」

世界には様々な国があり、文化や言語、暮らしも全く日本とは違ってしています。この図鑑はクイズ形式になっている所もあり、親子で一緒に考え、想像して、すぐにめくって答えがわかるような仕掛けがあり楽しく読むことができます。(小5母)

「学校の『当たり前』をやめた」

講演会を聞く機会があり、事前に本書を読んだ。ほんの内容も講演の内容もこれからの教育現場に必要な考えだと思います。今回改めて読みなおし、子供たちにも共有したい考えだと感じ選びました。(中1父)

「わかったさんのホットケーキ」

このシリーズが好きでよく読んでいましたが、一番好きだったのがこの本です。最後に作り方が載っているの、子供と一緒に本を読んで一緒に作って食べたいです。お話の中に入って、わかったさんと同じ気持ちになれるといいなあ。(小3母)

「おしりたんてい

みはらしそうのかいじけん」

小さい兄弟もいるので、みんながわかる楽しめそうな本を選びました。親子で読書をするのがないの
で良い機会になりました。(小4母)

「夫のトリセツ」

前に流行った本で読んでみたいと思っていた。脳科学の視点で男性の特徴を解明し、それをもとに夫婦のコミュニケーションの取り方を解説しているのがおもしろかった。男である自分の脳のクセや考え方が妻である女性とだいぶ違うことに気づかされた。パパ友にもぜひ進めたい本だと強くおもいました。(小4父)

「へいわってどんなこと？」

この本はお母さんが選んでくれました。お母さんは8月15日が終戦の日と教えてくれました。戦争は今も起きていると知りました。この本を読んでお母さんと一緒に平和について考えることができました。(小6)

だいぶ前に買っていたこの本が、片づけをしていたら出てきたので、8月15日の終戦の日と一緒に読んで、平和について考えてもらいたいと思いこの本を選びました。昔や今の戦争について子供は全く知らなかったの、これから学んで考えていってほしいと思いました。(小6母)

「水木しげるの妖怪なぞなぞめぐり」

いろいろな妖怪が出てきておもしろい。テレビなどで知っている妖怪や、全然知らない妖怪も出てくる。なぞなぞ形式の本なので、親子や兄弟で、なぞなぞを出しながら読めるのが楽しいと思う。父が水木しげるの本を何冊か持っているが、そっちはけっこう絵が怖い、この本は怖い感じがしないので、小さい子でもおもしろく読めると思うのでお勧めです。(中2)

山形県PTA連合会事業

本を読む子は必ず伸びる！

深める絆 **親子で読書**

山形県PTA連合会では、親子読書とおとし生誕学習を進め、親子で学び、親子のコミュニケーションの活性化により、親子の絆が一段深まり、子供の学力も向上することを願い、この運動を推進します。

令和7年度の取り組み

<p>毎月第3日曜日(家庭の日)は 親子読書の日</p> <ul style="list-style-type: none"> ●PTAの役員や毎月役員会でも、親子読書を推進しよう ●親子で読む図書に引きましょ ●親子読書の日に3原則 <ul style="list-style-type: none"> ・20分程度は読んでゆっくり読書 ・家の人みんなで楽しむ読書 ・読書は必ず親子で楽しむ読書 	<p>親子読書にチャレンジする PTAを応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4歳以上12歳以下(小1～小6) ●PTAによる学習活動の推進 ●PTAで読書会や親子読書推進委員会を推進 ●読書活動の推進 ●PTA活動の推進 ●親子で読書会を開催 ●親子で読書会を開催 	<p>募集</p> <p>親子で 読み合いたい一冊</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各学年の中から抽選で、30名に図書券を贈呈 ●募集期間は、7月1日～9月30日 ●対象は、小学1～6年生 ●応募は、小学1～6年生の保護者、教職員 ●応募は、山形県PTA連合会事務局 ●応募は、山形県PTA連合会事務局
--	---	---

山形県PTA連合会事務局 〒990-0021 山形県十日町一丁目6-8 山形県福祉センター内
Tel: 023-631-9009 Fax: 023-631-4359 E-mail: info@yama-pa.jp

「まほうのでんしレンジ」

パパがでんしレンジでおりょうりをつくるときのうたを、ぼくのパパがおもしろくうたいながらよんでくれるから。(小2)

息子と笑いあいながら読みあえるからということと、ママが妊娠中で赤ちゃんが生まれるため、最後のストーリーが重なり親近感をもてたため。(小2父)

親子読書活動紹介《最北地区》



「ゆったり流れる素敵な時間」

村山市立楯岡中学校

12月8日(月)、PTA総務部の企画で「読み聞かせ会」を実施しました。恒例の行事になっている「読み聞かせ会」ですが、今年は、保護者の他に卒業生や、かつて保護者として参加経験のある地域の方々など、ボランティアとして積極的な参加がありました。進行等の運営は生徒が行い、読み聞かせ後の感想発表では活発な発表がありました。この会を楽しみにしている生徒も多数おり、設定していた20分間は、読み手と聞き手の和やかな時間になりました。読み手の方々からは「中学校生活の日々の忙しさの中、ゆったりと流れる時間は大切」「こうした機会を大切にして読書への関心を高めてもらいたい」などの声が聞かれました。また、「来年もボランティアとして参加したい」という前向きな声も多数あり、来年度に向けてより有意義なものになるように計画したいと思いました。



親子読書活動紹介《庄内地区》



PTAと生徒会の連携で生活リズムの改善を

庄内町立余目中学校PTA

本校PTAでは、生徒会と連携して「余中ステップアップWEEK」という取り組みを行っています。今年度の2回目、生徒会図書委員会の「図書まつり」期間に合わせて実施した取り組みをご紹介します。

- ①メディア機器の使用を控え、生活リズムを整えて生活する。
- ②虫歯や歯周病を防ぐ正しい歯磨き習慣や磨き方を意識し身につける。
- ③家庭で本を手に取り、家族で読書に親しむ機会をつくる。

生徒の取り組みのポイントは、以下の4点です。
学習委員会、保健委員会、図書委員会を中心に生徒会が呼びかけます。

- ①睡眠7時間以上、学習時間は自分の学年の時間以上を確保する。
- ②メディア使用は2時間以内にする。
- ③朝昼夜の3回、正しく歯磨きをする。
- ④図書館から期間中3冊以上本を借りて読む。
(同居のご家族のために学校図書館から本を借りることも可能です)

保護者に
協力を依頼した文書より

保護者の皆さんにお願いしたいことは、各家庭での声かけと環境整備です。生活リズムと歯磨きについて声かけをお願いします。家族みんなで歯磨きをする、用具の整備など歯の健康について話題にするなどし、実行できることに取り組みましょう。読書については、面白い本を紹介し合う、一緒に本屋に出かけるなど本を話題にした会話ができたり、短時間でも大人が読書を楽しむ姿を子供に見せていただくことができたりすればありがたいです。

余中ステップアップWEEK

余目中学校 余目中学校PTA 余目中学校生徒会

第2回11月27日(木)～12月11日(木)

図書委員会 図書まつり 11月27日～12月11日

ねらい ①メディア機器の使用を控え、生活リズムを整えて生活する。
②虫歯や歯周病を防ぐ正しい歯磨き習慣や磨き方を意識し身につける
③家庭で本を手に取り、家族で読書に親しむ機会をつくる。

この2週間は特に次のことを意識して生活しましょう

《生徒の皆さんの取り組み》 ※平日の目標です

- 睡眠は7時間以上、学習時間は自分の学年の時間以上を確保しましょう。(期間中は読書も学習時間に含む)
- メディア使用は2時間以内に行いましょう。(ニュースを見る時間も含む)
- 朝昼夜の3回、正しく歯磨きをしましょう
- 図書館から3冊以上本を借りて読みましょう

《お家の方への協力お願い》 ※上記期間中の取り組みです

- ◎ ご家庭でも生活リズムと歯磨きについて声かけをお願いします。
- ◎ 家族みんなで 歯磨きやフロスの使用など歯の健康について話題にし、実行しましょう。
- ◎ 大人が読書を楽しむ姿を子どもに見せましょう。

取り組みの後に簡単なアンケートを実施します。子どもたちの望ましい生活・学習習慣の形成のため、ご協力をよろしくお願いします。

実施後、生徒と保護者にアンケートを行い、学校だよりで結果をお伝えしました。皆で課題を共有することができました。

「親子で読み合いたい一冊」ベスト3

過去5年間にわたる応募の中から、親・教師・子供が推薦してくださった書籍“ベスト3”を紹介します。
 ☆過去5年間（R3～R7）の応募総数：4,465件

シリーズ本の部

1位



「ないたあかおに」
 著者 はまだ ひろすけ

1位



バムとケロ
 シリーズ
 著者 島田 ゆか

2位



「ざんねんないきもの辞典」
 著者 今泉 忠明

2位



ノラネコぐんだん
 シリーズ
 著者 工藤 ノリコ

3位



「りんごかもしれない」
 著者 ヨシタケシンスケ

3位



ふしぎ駄菓子屋
 銭天堂
 シリーズ
 著者 廣嶋 玲子

今年度ご応募いただいた中から、3つの部門をランキングにしてみました

今年度のランキング ベスト3

(応募総数：694件)



書籍部門

1位

「火垂るの墓」
 著者 野坂 昭如

2位

「かあちゃん取扱説明書」
 著者 いとう ひろし
 「たった2℃で」
 著者 キム・ファン
 「ともだち」
 著者 リンダ・サラ

3位

「100万回生きたねこ」
 著者 佐野 洋子
 「きみのことがだいすき」
 著者 いぬい さえこ

著者部門

1位

ヨシタケ シンスケ
 ・あつかったらぬげばいい
 ・りんごかもしれない
 ・ぼくのニセモノをつくるには など

2位

工藤 ノリコ
 ・ノラネコぐんだんカレーライス
 ・ノラネコぐんだんラーメンやさん
 ・ノラネコぐんだんおすしやさん など

3位

鈴木 ノリタケ
 ・大ピンチずかん1～3
 ・ぼくのおふる など

応募率部門

(応募数/児童・生徒数)

1位

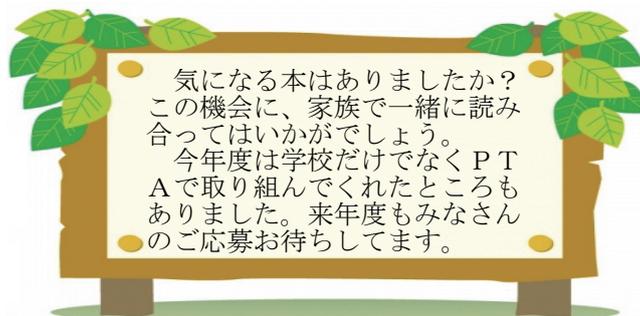
米沢市立広幡小学校 97%

2位

尾花沢市立玉野小学校 89%
 米沢市立塩井小学校 89%

3位

酒田市立黒森小学校 87%



気になる本はありましたか？
 この機会に、家族で一緒に読み合っ
 てはいかがでしょうか。
 今年度は学校だけでなくPTAで
 取り組んでくれたところもあり
 ました。来年度もみなさん
 のご応募お待ちしております。



山形県PTA連合会
<https://ymgt-pta.jp>